

# 変容の視点

令和2年度の研究推進委員会にて、研究の検証方法が話し合われた。その結果、検証方法は「児童の変容をみる」、その対象は児童のワークシートであることが確認された。

それを受けて、調査研究部では、①ワークシートにおける児童の変容をみとる視点、②ワークシートにおける記述の分類と例を示した。

## ①児童の変容をみとる視点について

A 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか。	1	道徳的価値にかかわる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から、考えようとしている。
	2	自分と違う立場や考え方を理解しようとしている。
	3	複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。
B 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。	1	読み物教材の登場人物を自分自身に置き換えて考え、自分なりに具体的イメージして理解しようとしている。
	2	現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直している。
	3	道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めている。
	4	道徳的価値を実現する難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。

## ②ワークシートにおける記述の分類と例

	記述の分類	ワークシートに表現される例	
		(イ) 考えや思いの記述	(ロ) 理由の記述 (なぜなら～)
A1	様々な視点からの考え	(登場人物)は〇〇だから、～したと思う。また、□□だから、～したのだと思う。	左の記述に理由が書かれる。
A2	異なる考えの理解	〇〇側の人の意見から、□□という考えもあると知った。 〇〇側の人の意見もたしかにそうだなと思った。しかし、やはり自分は□□だと思う。	
A3	対立する場面での行動	〇〇という行動もあるのだと思った。	
B1	自我関与	自分だったら、〇〇だと考える。(行動する。)	
B2	自己の振り返りと変革	これまでの自分は〇〇だった。これからは～	
B3	議論による価値理解	今日の学習を通して、□□ということを知った。	
B4	人間理解・人間的な弱さ	(登場人物)は〇〇だと思った。でも自分は、～	